



第46回 前橋市民芸術文化祭

5月8日、新型コロナウイルス感染症が5類へ移行。暗く長いトンネルを抜け、厳しい制限が次々と解除されていく。再び動き出した社会。しかし、終息未だ見えず。依然として続く脅威。

このような状況下、4月に華道展からスタートした市芸祭は、会員はじめ関係者の皆様が、刻々と変化する状況をしっかりと見極めながら、粛々と事業を進めていき、邦楽のつどい、大茶会、前橋川柳大会（誌上大会）、歴史講演会、市民短歌大会、市民俳句大会、民謡民舞発表会、八木節のつどい、と上半期9事業を、続く後半には、日本の名曲を踊るやなぎ会、日本舞踊のつどい、仏像彫刻と陶芸・絵画展、大胡地区文化祭（地区実行委主催）、粕川元気まつり（地区実行委主催）、前橋洋舞フェスティバル、富士見地区文化祭（地区実行委主催）、短歌・俳句・川柳合同作品展、自然趣味盆栽展、郷土芸能大会（市教委主催）、市民音楽のつどい、漢詩発表会、

フラフェスティバル、と10月から12月にかけて13事業を、そして年がかわり3月に市民展（市教委共催）、吟剣詩舞道発表会の2事業を開催し、無事終了する事が出来ました。

部会同士の輪が広がり、合同展の新たな形も見え始めた今期、感染やコロナ禍の長期化がもたらした様々な不安要素を抱える社会の中で、文化芸術と触れ合える、心潤う貴重なひと時として、多くの皆様にご来場頂きました市芸祭のコマをお伝えします。



支部活動

大胡支部

令和5年度の大胡地区文化祭が文化協会会員をはじめ、公民館利用団体のほか一般参加、保育園、こども園、幼稚園、学校に加え赤城少年院の協力を得て開催されました。総合展示では、

447点の力作を来場者は、食い入るように観覧し、4

年ぶりの開催となった芸能祭では、舞台発表を楽しむ出演者に温かな拍手が送られ、同じく音楽祭では、地域と学校が連携し、会場に響かせたサウンドは、500人の観客を魅了しました。将棋大会と囲碁大会では、

熱戦が繰り広げられ、将棋大会においては、県外からの参加もあり、大胡の歴史を楽しむ史跡めぐりでは、秋晴れのなか楽しく史跡を散策しました。歴史あるこの文化祭を守るため、今後

阿部 淑美

粕川支部

粕川支部では「楽しく元



気な粕川支部」であって欲しい事を願って、研修旅行、粕川元気まつり、地域づくり、各部会でのイベントなど活発に行っています。

各部の団体では、粕川公民館等で練習を行い、その成果を各種事業で発揮し、地域住民に親しんでいたどころと励んでいます。11月に行われた粕川元気まつりでは、企画、運営、出品出演など、文化部、芸能部と

の連携により楽しい参加となりました。また、粕川まつりなどの事業を通じ、文化団体への加入促進を促して行けるよう積極的に参加して欲しいと願っています。

これからも他団体との交流の場を増やし、各種事業に積極的に取り組んで行き、楽しい粕川支部であって欲しいと思っております。

白石 美雄

富士見支部

加(3)「納涼の集い」沖繩の調べ「上州エイサー彩風、伊藤綾野代表以下5名、富士見中学校吹奏楽部出演(4)研修旅行「山梨県方面(5)「まえばし和の文化の集い」ふじみ竹の会出演(6)「富士見地区文化祭」書道、絵画、手芸、歴史研究、小中学校生徒絵画の展示と舞台芸能。(7)「文化研修」富士見山簾寺の歴史と現在。

増村 友美

コロナの終息宣言はいまだ見当が付きません。ここにかけて少々の警戒の度合いが、やや緩み始めている感じがする昨今です。今年これまで実施した催物の実施報告をいたします。(1)「ニューイヤー・コンサート」群馬シティーフィルハーモニーオーケストラによる演奏会(2)前橋市文化協会創立40周年記念、富士見書道部員参



昨年5月、美登利会の子供たちが石川県小松市より招待を受け、4日と5日に開催された「第24回日本こども歌舞伎まつりin小松」に出演しました。子供が演じる歌舞伎公演の催しです。地元の小中生による「勧進帳」をはじめ、「伽羅先代萩」、歌舞伎役者片岡千之助さんの「娘道成寺」が上演されました。そして前橋

から歌舞伎舞踊「雨の五郎」「手習子」を小学生4名、中学生2名の6名で2日間元気に踊りました。

会場は「團十郎記念芸術劇場うらら」です。先代市

石川県小松市は「勧進帳」の当地で、歌舞伎の町として伝統芸能の振興継承に取り組んでいます。

永年の実績により美登利会が出演依頼を受けたのは

利会の稽古も見て、子供たちの踊りに高評価をいただきました。参加を楽しみに一生懸命稽古に励んだ成果です。

歌舞伎まつりの2日間は

「日本こども歌舞伎まつり」に参加して

日本舞踊部会長

若柳

吉駒

(美登利会代表)

川團十郎さんが昔から小松市の小中学校で「勧進帳」の指導にあたり、当代團十郎襲名を機に昨年改名した市民劇場です。

1年前。早速小松を訪ね催しを見学し、主催者の小松市から説明を受けました。秋には小松市が来橋して前橋市に派遣を要請されました。小松市の担当者が美登

小松市をあげての歓迎をいただき感激しました。こちらも前橋市長のメッセージを披露、劇場ロビーには前橋観光物産協会のお店も開かれ、お互いの伝統文化を

通して親しく交流することができました。当日の様子はユーチューブで見ることが出来ます。

前橋市及び文化協会からのご支援いただき、おかげ様で無事舞台を務めることができました。皆様にご心よりの感謝を申し上げます。



ふれあい体験事業

茶 道

一茶庵煎茶道教室

今年はずの外暑く、9月30日(土)も蒸し暑い一日でしたが、午後の2時間、10人の生徒さん達に一茶庵流の煎茶の体験指導を5人の講師と共にさせて頂きました。



午前中、床や点前道具等の準備をし、本番では点前を見ながら煎茶に関する説明を致しました。その後5班に別れ全員が講師の指導で点前を体験、煎茶とお菓子を楽しみました。最初は両者共緊張気味でしたが、帰りは「おいしかった、目

から鱗です」と笑顔での感想でした。

浅田 一晃

華 道

いけばな教室

11月4日元氣21のアトリエでふれあい体験教室を担当させて頂きました華道部の鈴風古流です。3連休の中日と言う事なので参加者も少人数でした。最初は大人も子供さんも緊張していましたがが作品を1本1本生



けるたびに気持もほぐれにこやかに又子供さんのハサミの使い方が上手なのは感心致しました。作品が仕上がる頃には皆満足そうな

顔で生けたお花を大事そうに持ち帰る姿を見て体験教室の楽しさを実感出来たのではないかと思います。

長坂 月初

バレエ

初めてのクラシック・バレエ教室

今回のふれあい教室は、元氣21にて午前と午後の2クラス、参加対象年齢を年中〜小学2年生とし、合計21名で行いました。

まずバレエのあいさつに始まりストレッチ、基本動作へと進み、それを基に振付けを覚え最後に保護者の前で発表しました。始めは緊張気味だった子供達も次第に笑顔がふれ、楽しく終えることができました。この教室を機にバレエに



興味を持ち愛好者となる方が増えるよう継続していきたいと思えます。

齋藤 直美

邦 楽

三味線教室

今回はこれまでの経験から3回の教室にしました。参加者全員が三味線を持ち



帰りに練習を重ね、驚く程の成果が見られ、荒城の月、さくらさくら、かごめ、ふるさと等、上手に弾ける様になりました。さわった事もなかった三味線を演奏できる所まで、皆良く頑張りました。文化協会でも初めてだそうですが、「とても楽しかった」と直接報告して下さった参加者が、いらっしやっただとの事でした。私共も、とても嬉しかったです。

杵屋彌三右衛門

こどもおこと教室

この度ふれあい教室では私共の会に7名の参加者がありました。小学生女子が5名男子1名高校生1名でした。1回2時間の講習を3日間、7月と8月にかけて実施致しました。模範演奏では「さくら変奏曲」や「さらし風手事」をスタッフの方と合奏。経験者が半分でしたので、スイスイ講習が進みま



した。「さくら」と「糸車」の2曲がほど良い爪音で弾けるようになり、曲が弾けた喜びで参加者皆が楽しく充実した会となったようです。

富田恵理子

日本舞踊

紫会

ふれあい体験事業のおかげで、日本舞踊教室に7人